

(仮称) 横須賀市学校給食センター整備運営事業

審 査 講 評

令和元年（2019年）8月16日

(仮称) 横須賀市学校給食センター
整備運営事業者選定委員会

— 目 次 —

第 1	審査体制.....	1
第 2	委員会の開催経過	1
第 3	審査結果.....	1
第 4	総評	8

第1 審査体制

学識経験者等の外部委員3名及び市職員2名の計5名の委員で構成する（仮称）横須賀市学校給食センター整備運営事業者選定委員会（以下「委員会」という。）が、落札者決定基準に基づき入札参加者から提出された入札書及び提案資料の審査を行い、最優秀提案者を選定した。

委員会の構成は、次に示すとおりである。

役職	委員氏名	所属等
委員長	鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学 教授
委員長職務代理者	伊庭 良知	国土政策研究会 理事
委員	日高 仁	関東学院大学 准教授
同	石渡 修	横須賀市 財政部長
同	米持 正伸	横須賀市教育委員会事務局 学校教育部長 （前任：伊藤 学 平成31年3月31日まで）

第2 委員会の開催経過

委員会は計5回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

全ての審議を終えた後、審査講評内容について整理し、令和元年7月30日、最優秀提案者について、教育委員会に対し答申した。

委員会	開催日	主な議題
第1回	平成30年12月25日（火）	事業の概要説明
第2回	平成31年1月21日（月）	落札者決定基準（案）の協議
第3回	令和元年6月21日（金）	提案者の審査についての協議、提案書に関する意見交換
第4回	令和元年7月1日（月）	事業者ヒアリング
第5回	令和元年7月8日（月）	提案書審議、最優秀提案者の選定

第3 審査結果

1 入札参加資格審査（第一次審査）

下記の4グループから入札参加資格申請書類の提出があり、いずれのグループについても入札参加者が備えるべき入札参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認した。

なお、後日、横須賀市学校給食共同体から入札辞退届が提出され、受理した。

グループ名
ジーエスエフグループ
東洋食品グループ
日本国民食・馬淵グループ
横須賀市学校給食共同体

※五十音順

2 提案内容審査（第二次審査）

（1）入札書及び提案資料の確認

下記グループから入札書及び提案資料が提出され、必要書類に不備がないことを確認した。

なお、加点項目審査における評価の際は、入札参加グループ名、企業名等を伏せ、入札参加資格書類の提出時に配布した受付番号により、全ての審査を行った。

受付 番号	グループ名	グループ構成	
		代表企業	構成企業
19	東洋食品グループ	代表企業	株式会社東洋食品
		構成企業	株式会社日立建設設計 横浜営業所 東亜建設工業株式会社 横浜支店 株式会社フロンティア 株式会社アイホー 横浜営業所 新日本厨機株式会社 横浜支店 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社
80	ジーエスエフグループ	代表企業	株式会社ジーエスエフ
		構成企業	株式会社梓設計 横浜事務所 三井住友建設株式会社 横浜支店 日本調理機株式会社 横浜営業所 株式会社合人社計画研究所
93	日本国民食・馬淵グループ	代表企業	日本国民食株式会社
		構成企業	株式会社大建設 横浜支所 馬淵建設株式会社 株式会社秋山建設 株式会社中西製作所 横浜営業所 太平ビルサービス株式会社 横浜支店 日本栄養給食株式会社

（2）入札金額の確認

上記グループの入札金額が予定価格を超えていないことを確認した。

（3）必須項目審査

上記グループから提出のあった提案資料の内容が、市が必須とする項目（必須項目）を充足しているかを確認した。

必須項目審査では、「要求水準を満たすための基本的能力を有する」ことを判断し、落札者決定基準に示す必須項目審査の審査基準を満たしていることを確認した。

(4) 加点項目審査

上記グループの提案内容のうち、市が特に重視する項目（加点項目審査）について、要求水準以上の具体的かつ優れた提案であると認められるものについては、以下に示す加点項目審査の評価基準に基づき、性能加算点を付与した。

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている	各項目の配点×1.00
B	優れている	各項目の配点×0.75
C	やや優れている	各項目の配点×0.50
D	具体的かつ適切な提案が少ない	各項目の配点×0.25
E	具体性や実現性について懸念すべき点がある	各項目の配点×0.00

加算項目審査の結果は、以下のとおりである。

評価項目	配点	受付番号19	受付番号80	受付番号93
1 安全・安心な給食を提供できるよう、衛生管理を徹底します				
①外部計画	20	7.0	16.0	12.0
②内部計画	50	27.5	25.0	37.5
③提供体制	60	42.0	39.0	33.0
④労働環境	20	12.0	12.0	11.0
⑤食中毒防止・事故対応	50	37.5	25.0	22.5
⑥配送・回収・配膳	30	19.5	21.0	16.5
⑦維持管理・修繕	50	27.5	30.0	27.5
2 生徒が楽しく食事をする事ができるよう、温かく、おいしい給食を提供します				
①温かく、おいしい給食	20	15.0	14.0	12.0
3 食物アレルギーに対応します				
①食物アレルギー対応	20	12.0	11.0	13.0
4 環境に配慮した施設整備と運営管理を行います				
①臭気・騒音対策等	30	19.5	21.0	21.0
②環境負荷の低減	20	11.0	12.0	13.0
③周辺環境への調和	20	11.0	15.0	11.0
5 災害時の対応を考慮した施設整備と運営管理を行います				
①災害時の対応	20	11.0	14.0	12.0
6 長期的な視点も含め財政負担の軽減を図ります				
①財政負担の軽減	30	19.5	24.0	16.5
7 子どもたち、地域、市民に愛される給食センターを目指します				
①地域経済・地域社会への貢献	50	30.0	30.0	35.0
②見学施設等	10	4.5	6.5	5.0
8 事業計画全般				
①供用開始までの工程計画	20	13.0	12.0	12.0
②実施体制	20	12.0	11.0	10.0
③事業の継続性	20	11.0	12.0	11.0
④リスク対応	30	18.0	18.0	16.5
⑤増減する食数への対応	10	4.5	5.5	5.5
性能加算点合計	600	365.0	374.0	353.5

(5) 価格加算点の算定（入札金額の得点化）

入札書に記載された入札金額を対象として、次に示す方法に基づき価格加算点を付与した。

$$\text{価格加算点} = 400 \text{ 点} \times \{ 1 - (\text{入札価格} / \text{予定価格})^2 \}$$

※予定価格 12,001,202,000 円（消費税及び地方消費税を除く。）

項目	受付番号 19	受付番号 80	受付番号 93
入札価格	11,055,918,000 円	10,790,000,000 円	10,754,446,043 円
価格加算点	60.5 点	76.7 点	78.8 点

入札価格は消費税及び地方消費税を除く。

(6) 総合評価点の算定及び最優秀提案者の選定

委員会は、以下の表のとおり総合評価点を算定し、ジーエスエフグループ（受付番号 80）を最優秀提案者として選定した。

(総合評価点の算定結果)

項目	受付番号 19	受付番号 80	受付番号 93
性能加算点	365.0 点	374.0 点	353.5 点
価格加算点	60.5 点	76.7 点	78.8 点
総合評価点	425.5 点	450.7 点	432.3 点
順位	3 位	1 位	2 位

(7) 審査講評

審査項目	審査講評
1 安全・安心な給食を提供できるよう、衛生管理を徹底します	
①外部計画	<ul style="list-style-type: none"> ・受付番号 80 は、車路を一方通行で徹底することで、敷地内の安全を確保している点が評価された。 ・受付番号 93 は、車両の動線計画において、時間差を利用するなど、安全面と利便性に配慮した計画となっている点が評価された。
②内部計画	<ul style="list-style-type: none"> ・受付番号 19 及び受付番号 93 は、安全面や作業性に配慮し、十分なスペースを確保した諸室の設定がなされている点が評価された。 ・受付番号 80 及び受付番号 93 は、市の提示した献立に配慮した諸室の配置及び動線計画がなされている点が評価された。
③提供体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、工程毎の責任者に十分な実務経験を有する者の配置がなされている点が評価された。 ・受付番号 19 は、運營業務のサービス水準を維持するための具体的なモニタリング方法の提案が複数なされている点が評価された。 ・受付番号 80 は、開業当初や献立に応じた柔軟な人員配置についての提案がなされている点が評価された。

④労働環境	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも労働災害の防止対策や熱負荷の低減等について、工夫がなされている点が評価された。
⑤食中毒防止・事故対応	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、食中毒・異物混入防止や衛生管理等について、具体的かつ多様な提案がなされている点が評価された。 受付番号 19 は、日常の衛生管理について実効性のある具体的な提案がなされている点が評価された。
⑥配送・回収・配膳	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、2時間喫食を可能とする効率的な配送計画や、誤配防止対策及び衛生管理が提案されている点が評価された。 受付番号 80 は、学校での配食作業について配慮した具体的な提案がなされている点が評価された。
⑦維持管理・修繕	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、品質確保を担保する確実性の高い維持管理体制及び予防保全を基本とした危険・障害の未然防止に対する具体的な対策が提案されている点が評価された。 受付番号 80 は、平屋建てで整備することにより、維持管理や修繕を行いやすい計画がなされた点が評価された。
2 生徒が楽しく食事をするができるよう、温かく、おいしい給食を提供します	
①温かく、おいしい給食	<ul style="list-style-type: none"> 各グループともおいしく調理する観点から多様な調理方策等の提案がなされている点が評価された。
3 食物アレルギーに対応します	
①食物アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも除去すべき食材が混入しないための調理システムや業務運営体制について実効性のある提案がなされている点が評価された。 受付番号 93 は、アレルギー対応に要するスペースを広く確保し安全面・衛生面に十分に配慮されている点が評価された。
4 環境に配慮した施設整備と運営管理を行います	
①臭気・騒音対策等	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、施工期間中の騒音・振動等の近隣配慮について、具体的で実効性のある提案がなされている点が評価された。 各グループとも運営期間中の厨房等排気について、各種適切な脱臭装置の導入を提案されている点が評価された。
②環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、給食センターの特性を踏まえた機器の選定等により、省エネルギー、省資源化などによる環境負荷低減の提案がなされている点が評価された。
③周辺環境への調和	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 80 は、平屋建てで整備することにより、建物高さを抑え、周辺への圧迫感を低減する提案がなされている点が評価された。 各グループとも、既存植栽を活かし、周辺環境との調和を図った緑化計画がなされた点が評価された。
5 災害時の対応を考慮した施設整備と運営管理を行います	
①災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 80 は、災害発生時の応急給食の対応について、外部計画を含めた具体的な工夫のある提案がなされた点が評価された。

	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、災害発生時の体制について具体的な提案がなされた点が評価された。
6 長期的な視点も含め財政負担の軽減を図ります	
①財政負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 80 は、平屋建てで整備することにより、壁・床面積を抑えることで、事業期間終了後も含めた維持管理や改修等のコストの軽減が図られる点が評価された。 各グループとも、予防保全を前提とした調理設備機器の長寿命化を図る具体的な提案がなされた点が評価された。 各グループとも、光熱水費の削減等ランニングコストの低減について、低減効果のある機器の選定や削減プログラム等、具体的な提案がなされた点が評価された。
7 子どもたち、地域、市民に愛される給食センターを目指します	
①地域経済・地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも高い市内雇用率について具体的な提案がなされている点が評価された。 受付番号 93 は、市内発注予定額が最も高い点が評価された。 受付番号 19 及び受付番号 93 は、構成企業に市内企業の参画がなされている点が評価された。 受付番号 19 及び受付番号 80 は、障害者雇用について、サポート体制も含めた具体的な提案がなされている点が評価された。
②見学施設等	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 80 は、省スペースながら工夫のある見学設備の提案がなされている点が評価された。 各グループとも食育に配慮しながらも展示スペース等が過大にならないよう工夫のある提案がなされている点が評価された。
8 事業計画全般	
①供用開始までの工程計画	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、施設整備期間について、工期遅延等のリスクを回避する具体的な提案がなされている点が評価された。 各グループとも、開業準備について円滑な供用開始に向けた実施体制や、研修、リハーサル等の提案がなされている点が評価された。
②実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、事業を統括する責任者を配置し、グループ内の企業間での連携や、市との連携について、円滑に事業を実施するための具体的な提案がなされている点が評価された。
③事業の継続性	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、具体的なセルフモニタリングの実施計画や確実なバックアップ体制の確保がなされている点が評価された。
④リスク対応	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、給食センター特有のリスクを踏まえ、リスクが顕在化した場合の対応策について、具体的な提案がされている点が評価された。
⑤増減する食数への対応	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、食数の変動や配送校の変更などに対して、施設面・運営面の双方から様々な提案がなされている点が評価された。

第4 総評

本事業は、市が新たに中学校完全給食を実施するにあたり設置する（仮称）横須賀市学校給食センターについて、事業者が本施設を整備し、運営期間内において施設の維持管理及び運営を行うものである。

今回、複数の事業者から関心が寄せられた中で、最終的に3グループから提案書類の提出があった。いずれのグループの提案も、これまでの各事業者の実績に基づくノウハウや創意工夫に加え、新たに中学校完全給食を実施する本市の状況も踏まえ、要求水準を上回る提案内容が示されていた。各グループの提案書作成にかかる多大なるご尽力に敬意を表すとともに、厚く感謝申し上げる。

委員会では、落札者決定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、ジーエスエフグループの提案を最優秀提案として選定した。同グループは、「提供体制」、「配送・回収・配膳」など、安全・安心な給食の提供に関して重要な項目のほか、「維持管理・修繕」、「財政負担の軽減」、「外部計画」、「周辺環境への調和」等の項目で高い評価を得た。また、他の評価項目でもバランス良く高得点を重ね、性能加算点で最も高い得点を得た。

「維持管理・修繕」及び「財政負担の軽減」に関しては、一般的に2階建てとすることが多い給食センターを平屋建ての施設としたことで、15年間の維持管理運営期間のみならず、その後の施設の継続も見据え、長期にわたる維持管理費用や修繕費用の低減を考慮した点が高く評価された。

「外部計画」及び「周辺環境への調和」に関しては、建設用地が住宅地に立地することから、建物最高高さを抑え周囲への圧迫感を和らげるとともに、敷地外からの視線を意識し、効果的に緑地帯を設置したことなどが評価された。

今後、ジーエスエフグループが市と各契約を締結し、本事業を実施するにあたり、市の要求水準や具体的な提案内容の確実な実行が求められる。本事業をさらに充実したものとするため、同グループに対しては、次の事項に留意して事業を実施されるよう、委員会として要望する。

- ・平屋建てでコンパクトな内部計画を設定しているが、適切な作業動線や作業スペースを確保するよう、留意すること。
- ・提案にあった高い市内雇用率を目指した市民の雇用や市内企業への発注など地域経済への貢献について、十分に配慮すること。
- ・平屋建てを生かし、バリアフリーを含め、来所者、従業員、市職員等全ての人にやさしい施設とすること。
- ・見学コーナーについては、見学窓からの見やすさについて、十分検証し、適宜、改善を図ること。
- ・本施設は、住宅地に設置されることから、事業期間を通じて、近隣への騒音、臭気等に対する継続的なモニタリングと対策を実施すること。

最後に、今後長期間にわたる本事業の運営において、ジーエスエフグループが市と良好なパートナーシップを構築し、安全・安心かつ温かく、おいしい給食を提供することで、給食センターが子どもたち、地域、市民に愛される存在となり、新たに開始する中学校完全給食を成功へと導かれるよう強く願うものである。